

**第4回秋田市新庁舎建設基本設計業務委託に関する
公募型プロポーザル審査委員会議事要旨**

開催の日時 平成23年7月8日（金）午後5時～
開催の場所 秋田拠点センターアルヴェ4階洋室C
委員数 7名
出席委員 7名

- 1 開会
- 2 説明
 - (1) スケジュールについて
 - (2) 来場者の意見について
- 3 審議（以下要旨のとおり）

事務局	【審議】(1) 評価表の集計結果報告 (説明)
委員長	【審議】(2) 技術提案書の最終審査 それでは、評価の集計結果に基づいて技術提案の審査を行う。
委員	評価の集計結果どおり、1位がA社、2位がB社で良いと思う。
委員	集計結果のまま特定して良いと思う。
委員	評価の集計結果については、これまで議論した結果であるため尊重したいと考えている。集計結果の順位に異論はない。
委員	B社とE社では市民サービスセンターの配置に関する考え方や免震装置の設置位置も異なっているため、評価についてはデリケートな問題となっている。
委員	E社は執務スペースを分断するなど、オフィスとしての認識が足りないように思う。可能性は感じられるが緻密さが足りないと思う。
委員	課題に対する提案では、アの市民サービスセンターなどの配置や免震などの対応を含めたイの防災拠点、そしてウの環境の点などで評価の明暗を分けたと思う。
委員	A社は現庁舎の地下を活用した地下駐車場を造る提案であったが、他社は立体駐車場を造る提案となっている。これは評価が分かれるところであろう。
委員	免震装置の地下ピットを地下駐車場に活用する案については、車の出

入りができるため、免震装置のメンテナンス性が良い。

また、G Lを1.5m上げていることや基礎構造の合理化は他社にはない優れた提案である。

委員 E社は、現庁舎を活用した地下に雪を集めるという提案だったが、これは搬送コストを考慮していないのではないか。

委員 A社の外装に耐火被覆を施した木材を使う考え方は、地元産品活用の積極的な考え方であり、意欲を感じさせる提案である。

委員 A社の提案は、それぞれの課題を的確に把握して検討し計画している。

4 最優秀提案および優秀提案の特定

委員長 7社の技術提案について審議を行ってきたが、評価結果をこれ以上変更する委員はいないため、評価の集計結果に基づき、最優秀提案をA社の提案、優秀提案をB社の提案、そして点数の順に3位から7位を決定してよろしいか。

委員 (了承)

委員長 それでは、以上の審査結果に基づいて、後日、審査講評を作成する必要があるため、講評に記載すべき内容についてご意見をいただきたい。また、基本設計の際に、A社に対して注文したい事でも結構なので、ご意見を願います。

委員 A社の市民協働の提案は良いと思うが、市民サービスセンターの諸室が各フロアに分散配置しているため、閉庁日におけるセキュリティや使い方について慎重に検討する必要があるだろう。

委員 どこが正面なのか明確でなく、正面性がない。

委員 逆に、どこからでも入れるという利点もあるのではないか。

委員 新庁舎ができれば消防との地下通路を造る必要性は低いのではないか。新庁舎ができれば本庁機能は全て新庁舎に入ることになるので、消防庁舎と本庁を結ぶ地下通路は不要なのではないか。コストの削減にもつながることなので、慎重に検討する必要がある。

委員 木材利用と地元業者を活用する工夫をして欲しい。耐火被覆や外装を提案どおり木材にすることなどにトライして欲しい。

委員	環境に関する提案について整理し、予算をオーバーすることがないよう適切な技術を採用して欲しい。
委員長	議場の屋根については、現議場の屋根を継承しているが、このデザインにはあまり賛成できない。現議場の屋根の形を重視して欲しいという意見の委員はいるか。
委員	形が不整形で、そういうおもしろさを感じさせる。他の提案では形がきちんしているが、地域の特性を生かしたおもしろ味がない。
委員長	A社のプランを見ると、外部テラスが西側に向かって設置されているため、竿燈広場での竿燈をテラスから一望できるのが良いアイデアである。 他の提案では、このケヤキを移植するという案で、庁舎の真ん中に大きなケヤキがあった。この提案は今のケヤキは元気がないから伐採して内装材に使うという案だったと思う。そのような診断をしたのか。
事務局	特にしていないが、ケヤキの木は落葉樹なので、実際は落ち葉の処理が大変である。
委員	移植ではなく、伐採するとなると市民から異論が出るのではないか。けやきは秋田市の木なので、丁寧に扱うべきであろう。
委員	切った後、内装材として使うという提案であり、代わりに新しいケヤキを今までの2倍植えると言っているが、そうすると管理が大変だ。
委員	秋田市を象徴する木なので簡単には伐採できないものである。
委員長	あまり議論にはなっていないが、分館に関してはどうか。
委員	分館は基本的に耐震改修がメインである。 分館は、将来の職員数を考えてつなぎとして使う建物なので、25年後に職員数が減ると、分館の役割も終えることになる。25年間使える改修をするということである。最後はほとんど会議室としての利用になるのではないか。
委員長	他に意見はないか。なければ、以上で本審査委員会を終了する。 (審議終了)

5 その他

6 閉会